

## 第5回丸子地域協議会会議録

日時 平成19年1月31日 午後1時30分から午後3時まで

会場 丸子地域自治センター4階講堂

### 出席委員（17名）

阿原孝之委員、生田淳一委員、浦芳照委員、片桐久委員、倉沢史子委員、齋藤繁子委員、櫻井誠委員、笹沢暁委員、砂子守委員、武井純雄委員、土屋猶子委員、中西国子委員、中村貢委員、成澤啓輔委員、原信夫委員、柳原幸生委員、吉池袈裟保委員

### 欠席委員（3名）

石子美奈委員、高山静江委員、成澤みつ子委員

### 市側出席者

小林丸子地域自治センター長、堀内丸子自治センター次長、山越地域振興課長、中村主査、齋藤主任、小林主任、澤山主事

#### 1 開会（山越地域振興課長）

#### 2 会長あいさつ（片桐会長）

#### 3 報告事項等

片桐会長 それでは報告事項に入ります。地域協議会連絡会議について事務局から報告をお願いします。

山越地域振興課長 前回の地区協議会でご連絡しましたとおり、1月18日に上田市中央公民館で9地域協議会の正副会長さん18名にお集まりいただきまして、上田地域協議会連絡会議が発足しました。お手元に9地域協議会の会長さん副会長さんのお名前と、当日決めていただきました上田地域協議会連絡会議会則がありますのでご覧いただきたいと思います。それから連絡会議の設立に当たりまして、正副会長さんの選出ということで会議の中で決めていただいたわけですが、川西地域協議会の宮下昭夫会長さんが連絡会議の会長ということでお決めいただきました。また丸子地域協議会の片桐会長さんが副会長に決まりました。それから会議の中で地域協議会の会議録につきまして、委員さんの名前の公表について論議されました。丸子地域協議会の中では第1回のときに公表することにご了解いただいていたのですが、9つの地域協議会の中ではなかなか調整が取れなくて、今は会議録につきましてお名前を公表しておりません。それで18日にも検討したわけですが、決まりませんで、それぞれ地域協議会へ持ち帰って再度検討するというので、会議録における委員名の公表について論議をいただければと思います。それから、上田地域協議会の委員研修会を開催したいということで、3月15日午後2時から、上田創造館におきまして9地域協議会の委員さんの研修会を行っていきたいということでした。この関係につきましては、自治センターからバスを用意いたしますので、詳細が決まりましたらご連絡したいと思います。それから報告事項としまして、9地域協議会の総合

計画の審議過程の中間報告ということで報告がありました。これにつきましては、今回の会議通知と併せて委員さん宛に郵送しております。それからもう一点報告事項といたしまして、新聞等でご存知とは思いますが、1月12日付けで各地域協議会にJT上田工場跡地利用に対する件で地域協議会へ諮問して欲しいということで要望書が出されておりました。この関係につきましては、市の方から条例に定める諮問事項に該当しないということで、諮問はしないということで要望書に対して回答したということで報告がありました。以上で18日の連絡会議の報告とさせていただきます。

片桐会長 ただ今の報告に対しまして、ご質問ございますか。ないようですので、協議事項に入りたいと思います。

#### 4 協議事項等

##### (1) 丸子地域まちづくり方針「計画シート」について

片桐会長 丸子地域まちづくり方針「計画シート」について継続審議いただいております地域まちづくり方針について、前回の協議会でみなさんから出させていただきました意見をもとに事務局で案を作成していただきました。事務局からの説明をお願いいたします。

山越地域振興課長 12月20日に市長から諮問がございまして、第3回地域協議会、第4回地域協議会でご審議いただきました。前回の審議の中では、二つの分科会に分かれてご審議をお願いしたわけですが、その中でありましたのは新生上田市建設計画の内容、要するに計画シートの1番から5番の5項目ですが、この関係につきましては新市建設計画で合併前の前提でもあり大きな変更修正はしないということ。それから追加する2項目につきましては、1つの分科会では、地域の特性にもあげられており、今まで丸子が進めてきた林間工業都市に対する記載がこのまちづくり方針にないということで、是非その関係について入れていただきたいということ。それから他方の分科会におきましては、自然環境保全、子育てその内容で2項目を設定したらどうかという意見がありました。それを踏まえまして事務局で作成しましたものを事前にお配りいたしました。内容等について説明いたしますが、変更点だけ申し上げていきたいと思っております。最初に「地域の特性と発展の方向」ですが、各委員さんから8項目のご意見をいただいたわけですが、各分科会の中でご指摘があった事項を含めまして、5行目の「雇用を促進し」というものと7行目の「また、福祉の充実や」を加えるという、この2点について変更させていただきました。その他につきましてはそのままの文言を使うということになっております。それから「地域まちづくり方針」ですが、快適な交通ネットワークの整備ですが、先ほど申し上げましたとおり新市建設計画に記載されている5項目について大きな変更はしないという前提ですが、「国道152号と国道254号」について説明用語がありました。各方針200字以内でまとめるということがありましたので、「上小と諏訪を結ぶ国道152号」と「東京と中京を結ぶ国道254号」という文章になっていたわけですが、前段をなくしまして、「国道152号と国道254号」という文章にさせていただきました。それから3行目ですが、「平井寺トンネルの早期無料化や国・県道の整備を国・県に働きかけるとともに依田川左岸連絡道路や」という形で具体的な事業名を加えさせていただきました。それから、「市街地を通過する」というものを「地域内」に変更させていただきました。は変更ありません。につきましては、分科会の中でも農業と商業

が離れてしまっているという指摘がありましたので、一行だけ加えさせていただきました。3行目からになります。商業と農業の政策の後「農業と観光、商業の融合を図りながら」という文言だけ加え、商業と農業の連携を記載させていただきました。それから生涯学習活動拠点の充実と新図書館の整備ですが、この関係につきましては「丸子町文化会館や信州国際音楽村」と書いてありましたけれど、色々な施設を加えていただきたいという意見がありました。その中で「丸子町文化会館や信州国際音楽村など」の「など」を加えさせていただきました。につきましては、そのままの文章になっております。従いまして、からの新市建設計画に搭載されています項目につきましては、最小限の変更にさせていただきました。ですが、分科会の方で題名を出していただいた関係ですが、「未来型産業の振興と起業マインドの育成」という題名にさせていただきました。まちづくり方針につきましては、「新たな地域産業の発展のためには、新技術の開発や未来型の産業化、新規企業の参入及び起業が必要です。神の倉工業団地や遊休地等を活用して企業誘致を進めるとともに、地域の繁栄を支えてきた工業については、新たな技術の高度化や企業間及び産学官の連携により振興を促進します」という文章になっております。次にですが、「自然環境の保全と人々が共生できる地域づくり」ということで、「多様な機能を持つ森林や里山を保全するとともに、潤いをもたらす依田川・内村川の水辺周辺の環境整備を図り、ウォーキングロードや親水公園など健康づくりと憩いの場を創出します。また、次世代を担う子どもたちを安心して産み、育てられる環境整備が必要です。地域ぐるみで子どもたちを守り育てる環境づくりや、地域が一体感もてるコミュニティづくりを進めるなど、市民との協働による地域づくりを目指します」という形にさせていただきました。以上です。

片桐会長 事務局から「地域特性の発展の方向」と「地域まちづくり方針」7項目の案を設定していただきました。一つずつ内容を協議して決定していきたいと思っております。また決定の方法は挙手によって多数決で決定してまいりたいと思っております。それでは最初に「地域特性の発展の方向」について、ご意見のある方はお出しいただきたいと思っております。ないようでございますので「地域特性の発展の方向」は事務局案でよろしいでしょうか。賛成の方は挙手願います。全員賛成で決定いたしました。続きまして、地域まちづくり方針の「快適な交通ネットワークの整備」について、項目と内容はいかがでしょうか。

委員 前回お話しすればよかったのですが、「国道 152号と国道 254号が交差するなど」という文言なんです。が、「交差」という言葉が、線と線という捉え方になると思うのですが、道路と道路が交差すれば交差することになります。が、市街の中を 152号と 254号が通っている格好になるので、「通行する」とか、その方が良くと思うのですが、ご検討願いたいと思っております。

山越地域振興課長 「交差」ということになると、クロスするという意味になるかと思っております。文言だけのことでありますので検討させていただきます。

片桐会長 他にございますか。それではないようですので、「交差する」という部分をもう一度検討していただいてこの案でいかがでしょうか。賛成の方は挙手願います。全員賛成。の快適な交通ネットワークの整備につきましてはこのとおりで決定しました。続きまして、交流人口の拡大のところ、訂正がないわけですがいかがでしょうか。

委員 この文章の中で感じたことですが、各施設の整備ということがあげられて

いますが、もう少し各施設間の連絡といいますが、今ある資源を有効に使うという意味で連携を図るということを入れていただきたいと思います。既にあるものの連携というような文言を入れていただきたいというものです。

片桐会長 みなさんどうでしょうか。

委員 この前の提案で例えば文言としてはどの部分に入れたいということでしょうか。

委員 最後の行の「こうした丸子地域特有の資源を最大限に生かし」の後に「各資源の連携を図ることで」というような形で、資源を最大限に生かすという部分に含まれていると考えればよろしいのですが、今ある資源をつなげるという意味があれば良いのですが。

山越地域振興課長 この関係につきましては、前回、「こうした丸子地域特有の資源を最大限に生かし、各資源の連携を図ることで世界を視野に入れた新市の交流人口の拡大に取り組んでいきます」という文章にということで提案いただいていたんですが、もう一つの会の方で、新市建設計画につきましては極力いじらないという話しがございまして、資源を最大限に生かすという部分に含めるということを事務局としては考えました。よろしくご審議お願いいたします。

片桐会長 みなさんどうでしょう。

委員 そのようなお考えで、新たに施設を作ったりするだけではないということを含めていただければのでしたら、それでも結構だと思います。

片桐会長 それでは につきまして、賛成の方は挙手願います。全員賛成。全員の賛成をもって決定いたしました。 についてご意見ありましたら。

委員 確認を事務局へお願いしたいと思いますが、この商業について書かれている文章は平成 17 年度にやりました中心市街地活性化基本計画の中から抜粋されたように思うのですが、要するにこの中心市街地活性化基本計画のことについては、継続していくということによろしいでしょうか。

山越地域振興課長 新市建設計画に書かれている文章をそのままでございます。これにつきましては 17年 3月に樹立されています。市街地活性化基本計画、計画実施はしてありますが、その後法律改正がありまして、まちづくり 3法の改正に伴いまして、計画遂行に伴う優遇措置等というのは、なくなってしまう形になるかと思っておりますのでお願いします。

委員 わかりました。行政合併について、基本計画の中で続行できることも続行できない部分もあるということですよ。要するに今感じたことなんですけど、まだ 200字以内ですので、できれば基本計画のことも継承していくという文章を付け加えていただくとありがたいのですが。その辺はどうでしょうか。

山越地域振興課長 実際の話の中で、計画の推進について文章の中で言っているのですが、商業関係の自治センターへの話しの中で農業関係や商業関係の地域の連携という話が、市長のお気軽ミーティングの中でもそういう話がありました。その中で丸子地域において連携を取って行くという意味で委員さんから商業関係のことも肉付けして欲しいということは前回も提案がありまして、農業と商業がばらばらになっていたものを今回つなげたということで提案させていただきました。

片桐会長 それでは につきましてはこの方針でよろしいでしょうか。賛成の方は挙手願います。全員賛成で決定いたしました。つづきまして、 について審議お願いします。何かありましたらお出し願います。ないようですので、この方針

でよろしいでしょうか。賛成の方は挙手願います。全員賛成で決定いたしました。続きまして について、審議いただきたいと思ひます。 つきましては訂正もないようですので、賛成の方は挙手願ひます。全員賛成で決定いたしました。続きまして について何かご意見ありましたらお願いいたします。

委員 全体的に抽象論で具体的な論議が少ない中ですが、他の地域もだいたいそうですが、 についてはせっかくこうした形で作るのであればもう少し具体的にしたらどうかと思ひ、2行目の「遊休地等を活用して企業誘致を進めるとともに」という部分に土地活用の委員会の設置ということを入れて、具体的に取組むぐらゐの形を示していくことが大切だと思ひますがいかかでしょうか。

委員 これは方針ですから、その内容は実施計画に入れていけばよろしいかと思ひますし、それと項目の内容について先ほど抽象的だと言われましたが、方針の場合はどうしても仕方がないことかなと思ひます。

委員 確かにおっしゃるとおりだと思ひます。わたしは全体をランク付けをしてみたのですが、何で抽象論だということかといひますと、9地区で一番項目が多かったものは、歴史的資源の活用と観光振興というものが 10項目あって、3つの地区では2項目くらいあがっていて、その次に健康福祉、自然環境の保全というのが 1,2,3と載っていて、産業振興、子どもの育成、道路網整備があつて、その後防犯防災対策とか地域コミュニティ、生活環境の確保とあつて、どれも間違いじゃないんですね。だいたい総なめして見ていくと傾向が同じだと。もう少し個性ある地域づくりということを考えますと、例えば里山とかもそうなんですが、会長のいうとおり、基本なので概略でいい、肉付けはこれからだという考え方があると思ひますが、計画というのは何かいつも計画倒れになってしまう。これだけの項目を掲げたからそれに則つてみんなで頭を揃えて検討して行けばいいんだという形があると思ひますが、もう少し、1項目、2項目くらい具体的なことを出すことによってせっかくの基本方針が生きてくるのかという感じがするんですが、土地活用委員会というのは今せっかく神の倉だとかカネボウとかあるわけですが、項目としてはこれを活用するということであがっているんですが、それは誰もが同じ意見なんですが、委員会で具体的に動き出すということをやっていくことが大事なのではないかと思ひました。

山越地域振興課長 今の委員会の話でございますが、委員さんの言われたものは審議会的な、付屬的な委員会のことだと思ひますが、ここで委員会を入れなかったのは、新市におきまして職員での委員会は今立ち上げています。市全体の委員会を置きまして、自治センターの中にも研究会という形で職員の組織として立ち上げています。今後また実施段階におきまして審議会等設置の話しも出てくるかと思ひますがよろしくお願ひいたします。

片桐会長 他にございますか。 の方針につきまして賛成の方は挙手願ひます。全員賛成。決定をいたします。それでは、 自然環境の保全と人々が共生できる地域づくりについて、ご協議願ひます。

委員 言葉として弱いところがあると思ひますが、私は最初に少子化対策について提案したのですが、今「次世代を担う子どもたちを安心して産み」ということについて、ここに全部吸収されているのであればいいのだけれど、子どもがない社会が活性化するとは言えません。後継者問題も子どもがいなければ後継者になりません。そういうことから少子化対策については、3行目「また」から始まる部分をもう少し強く表現していただきたいと思ひます。

委員 わたしも今の意見について、次世代を担う子どもたちのところが消極的だと思います。「環境整備」というところをもう少し具体的にどのようなことなのかお聞きしたいのですが。

山越地域振興課長 この関係につきましては、前回の地域協議会で一つの分科会の方から、子育てと少子高齢化について1項目、自然環境で1項目という話があったかと思います。一つの分科会で地域の特性で工業の関係について何もふれていないのではないかとということで1項目提案がありました。二つの提案の項目を一つの文章にまとめて200字以内ということで、だいぶ文言が少なくなりましたかと思いますが。子育て支援の中で、現在も見守り隊ですとか見まわり隊などボランティアで活動していただいているのもっとこの中に書ければ良かったのですが、なかなかその状況ではない。それから、子育て支援につきましても、児童館の整備ですとか、子育て支援センターの拡充につきましても、実施計画の中に入れていいのではということで、今回は抽象的にはなりますが、とにかく地域をあげて子育てをできる環境整備という形の文章にさせていただきました。また、「産む」からスタートするという意見がありましたので、「産む」から「育てる」文章にさせていただきました。よろしくをお願いします。

委員 わかりました。ありがとうございました。

委員 この件につきましては、私たちの分科会の方では、女性から強く出されました。地域全体で「安心して子どもを産む」というところへ随分力を入れて、「安心して産む」ということが具体的に出てくればいいのですが、限られた字数の中で、安心して産むということにすごく力を入れて欲しいということで「安心して産む」というところへ集約しました。それと、育てられる環境整備についていくつかの条件がありますが、実施計画の中へ具体的に入れていくべきで、限られた字数の中でかなり強い思いを込めたつもりですが。難しいですね。分科会の中ではそのようなご要望はありました。

片桐会長 これは文言を変えて欲しいということですか。

委員 もう少し強い表現をしていただきたいなということですか。

委員 前回の1グループでは、今の内容について話し合ったのですが、安心して生み育てられる環境整備の促進と私は言ったつもりですが、それが整備となっており、少しトーンダウンしたような形ですので、できましたら「促進」の方がより強くなると思いますので、ご検討をお願いします。

片桐会長 よろしいですか。

委員 先ほどより「促進」の方が強い印象になると思います。全体的の文面からまちの活性化にはやっぱり子どもだなと感じていますので、実施計画へできるだけ入れていただければいいかなと思います。

山越地域振興課長 こんな形でよろしいでしょうか。この文面につきましては、地域で協働による地域づくりを進めるということなので、「産み、育てる環境整備の推進が必要です」ではいかがでしょうか。

委員 私は「環境整備を促進し」、「」で地域ぐるみでとすれば、文章がつながると思います。「。」だとここで止まってしまうので、育てる環境と地域ぐるみで子どもを守り育てるという一体感を持った方がより強い文章になると思います。

山越地域振興課長 では、「安心して産み育てられる環境整備を促進し、地域ぐるみで」という形でよろしいでしょうか。

片桐会長 ただ今のでよろしいでしょうか。賛成の方は挙手願います。全員賛成。

決定をいたしました。大変ありがとうございました。ただ今丸子地域まちづくり方針「計画シート」を決定していただきました。この内容を答申書にいたしまして、2月9日に市長に提出したいと思います。ここで休憩をいたします。再開は2時30分をお願いします。

休 憩 14:15から14:30まで

片桐会長 それでは再開いたします。「地域協議会会議録中の委員名の公表について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

山越地域振興課長 連絡会議の中で協議したわけですが、会議録中の委員名を公表すべきだとか、しないとか色々意見が出まして、各地域協議会に持ち帰りとなりましたのでご協議をお願いいたします。連絡会議における賛成意見については、責任を持った意見、責任を持った行動をするためにも公表が必要であるという意見がありました。また反対意見としては、勇気ある発言ができなくなってしまう、発言することによって嫌な思いをするかもしれないという意見も出されました。この意見を踏まえまして、全協議会統一した方が良いのではないかとということでそれぞれの地域協議会の意見を持ち寄って、次回の連絡会議で統一してこうということです。丸子地域協議会につきましては、最初に公表するというご了解をいただいております。そういう形で事務局へは報告したのですが、議事録への氏名の公表を反対する協議会もいくつかありまして、今現在全て公表にはなっていない状況です。丸子地域としては前回の経過も踏まえまして、原則議事録において発言委員の氏名を公表していくということ。ただ、条例第10条第5項に基づき非公開とした協議会については当然委員名を公表しない。それから利害関係等に関する協議事項で協議会として公表しない方が良いと判断した場合は公開しない。議事録の中で発言した委員の名前についても公表しないという形でご検討いただければと思います。原則としては委員名の公表をするということをお願いいたします。

片桐会長 ただ今の説明ですが、委員名の公表ですけれどもどうでしょうか。丸子地域は委員名を公表するということによろしいでしょうか。

(「よろしいです」の声あり)

片桐会長 それでは、委員名を公表するということで次回の地域協議会連絡会議へ提案したいと思います。それでは、その他で事務局また委員のみなさんで意見等ありましたらお願いいたします。

山越地域振興課長 二点ほどお願いいたします。一点目は丸子庁舎の4階の利用の関係ですが、現在上田地域広域連合の事務局を4階に移転という形で事務を進めています。ただ、上田地域広域連合の事務局の移転ということになりますと、広域連合の規約改正が必要ということになります。構成市町村で議決事項となりますので、正式に決定しますと3月議会に上田地域広域連合構成市町村の規約変更の議会議決を経て決定ということになります。今準備の段階といたしましては、4階すべてが空いている状態であり、そこをなんとか事務局のスペース、議場はそのまま使えるということで、利用していきたいということで現在進めております。また、合併前この丸子庁舎には130名の職員がいたわけですが、今回広域の事務局が移転すると36名の職員がここで事務を執ることになるかと思えます。そうすると合併前を上回る職員がこの中で働くということになります。

るしくお願いします。それからもう一点ですが、「地域振興事業基金の関係について」ですが、地域協議会の規則の中で事務事業の中に地域振興事業基金の用途についてというのがありますが、合併を期に合併特例債を使いまして、36億円の地域振興事業基金を積み立てていこうという内容であります。今年度18億円を積み立て、来年度以降18億円ということになりますが、36億円の基金を積み立てた中で今後の事業の実施につきましては、地域協議会のみなさんの意見を聞きながら進めていく形になるかと思っておりますのでよろしくお願いします。それに合わせまして旧丸子町にありました「ふるさと基金」というものがございます。この関係につきましても、地域振興事業基金の中に入りますので、これについては合併時5億円ありました。丸子地域協議会の意見を聞きながら使っていくということですが、具体的にどのような時にどのような協議をしていくかまだ決まっておりません。また、協議していきたいと思っておりますが、現在の状況を申し上げますと、18年度予算の中では、旧丸子町で組んだ予算と同じように地域の公民館を改築する事業があります。公共集会施設整備事業というものがありますが、平成18年度も約3千万円の予算で事業を実施しているわけですが、その中に1200万円基金を充当しています。平成18年度は平井の茂沢公民館を直して、その他の公民館の改修に1200万円を充当していきます。19年度予算ですけれどもまだ確定はしていませんが、丸子地域に特定したものに充当していく形になるかと思っております。経過報告になりますが二点ご報告させていただきました。以上です。

片桐会長 ただ今の説明で何か質問はありますか。ないようですので事務局からありますか。

斉藤主任 次回の第6回地域協議会の開催につきまして、本庁の合併調整室から合併協定項目の調整結果の報告をしたいということで予定がありまして、2月19日の週に設定をしていただければということですので、事務局の案としましては、会場の都合等がございまして、2月20日火曜日、13時30分から、場所は3階の第1会議室でお願いできればと思います。ご協議いただきたいと思います。

片桐会長 次回の開催は事務局の案とおり、2月20日火曜日、午後1時30分から場所は3階の第1会議室でよろしいでしょうか。それでは、そのとおりに開催したいと思います。

委員 総合計画の審議会にも出ているのですが、いつも膨大な資料についての説明があり、これは仕方がないことかもしれませんが、もう少し早めに資料を送っていただきたい。それから委員が60人くらいいるのかな、総合審議会で意見を求められてその内27人が未回答であって、委員の中でも問題意識を持っているのか、いないのかわからない状況で、また総合計画のアンケートを企画でやると46%くらいしか回答がない。こういうのを見ますと、いったい合併だとか総合計画とか色々やっている中で、まだまだ底辺の拡大が必要ではないかと思っております。この委員の中にはそんな方はおられないと思っておりますが、もっと真剣に委員としての職責を果たすこと。それから我々の使命として色々なことをみんなにPRすることもやっていかなければならない。こんな点があちこちで会議がやられている中で整合性というか統一が図られていないと思う。なんか適当に委員の人が出てってやってるわい、我々は委員の下にただければいいんだという考えでいるので、27人も委員会で何も意見が出てこない形であったり、アンケート回答が46%だったり、なにか地域のまとまりが欠けていると思う。丸子はそのようなことがないようにみんなで地域の推進ということで上田全体を盛り上げるということが必要だと思



うので、わたしも心掛けていますのでみなさんも一つよろしくお願ひしたいと思ひます。

委員 提案をしたいのですが、以前にも出したこの地域協議会の提案事項をどう評価していくかということですが、分科会などを作って論議していくことも考えていいと思ひますし、具体的な方法についてぜひ議論してもいいかと思ひます。

片桐会長 その件に関しましては、徐々に、例えば区長さんは区長さんの会があり、私どもまちづくり全体で提言できるものはどの場所で協議したらいいか、例えば予算を作成する前にやったらいいのか。これからしっかり詰めて、この協議会のあり方を方向付けていきたいと、冒頭で申しましたとおり、この協議会が任期で終わりということではなくて、次の協議会へしっかりバトンタッチできるように、その役目を私たちが果たさなければいけないなと思ひます。

委員 私は前回、この計画シートを1月中に完成させればいいんだと、その他の細かいことはプラン、ドウ、チェック、アクション含めまして、2月以降にやればいいんだと申し上げてまいりました。そこで事務局へお願ひです。この丸子地域協議会の年間スケジュールを出していただけるとありがたいです。どんな形でもいい。それに対して私たちが意見を言って解決していけばいいのですから、できましたら年間スケジュールを出していただきたい。

山越地域振興課長 次回に何かしらの形でお示ししたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

片桐会長 他に何かございますか。この際ですから。

山越地域振興課長 この地域協議会のあり方をめぐって先ほど会長さんからもお話しがりましたが、9地域協議会の委員さん全体での研修が3月15日に予定しています。それから丸子地域独自で2月22日に地域づくり講演会というものを予定しています。先ほど斉藤から申しあげました20日の会議のときに通知をお配りする予定でしたが、文化会館の小ホールで「合併後の地域づくり」ということで講演会を予定していますのでぜひご出席いただきたいと思ひます。講師としては長野大学の表先生を予定しています。連絡会議でもありましたが、地域協議会の先進地ではどうだという話がありました。先進地としては、事務局の方で上越市へ視察に行かれるようですが、地域協議会は制度として新しいものですから、みなさんで作り上げていただければと思ひます。二つの講演会が予定されておりまして、上田地域全体のものと丸子地域独自のものがありまして、2月22日に小ホールで行うものが丸子地域だけでやります。3月15日には9地域全部の委員さん対象に上田の創造館で行います。また追って通知は申しあげます。

片桐会長 他にありますか。ないようですので以上をもちまして本日の地域協議会を閉会といたします。大変ご苦労様でした。